

年中保育ドキュメンテーション

6月2日 (月)

今日の子ども達の
気づき

①あれ！？ 白いダンゴムシ？

いつものようにダンゴムシのお世話をしていると、「白いダンゴムシがいる！！」と言う声が。



見てみると脱皮した白い皮がダンゴムシにくっついていました！ナイス発見！
「脱皮ってなに？」
「お洋服脱いだんだよ」と脱皮について知っている子が教えてくれていました。

②幼虫とアリさん 遊んでいる??

今度は幼虫にアリが集まっている所を発見。



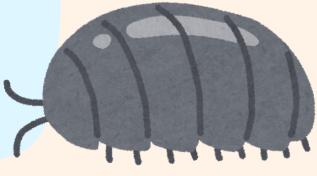
見ると、アリ達が幼虫を食べようと群がっていたのでした涙



なかなかショッキングな場面。
でも、命の繋がりなどを感じ
られる良い発見かな？

T（保育者）の思いもありつつ見守っていると、「木に乗せてあげよう！」と離れた木に幼虫をのせてくれたMくん。「アリさんから守ってくれたの？」とTが聞くと、「ん？木に乗せてあげたかったんだよ」と言ってお部屋に戻りました。

③ダンゴムシ迷路



先週から食後の時間に始まったダンゴムシ迷路作り。カプラを迷路の形に並べて、そこへダンゴムシを放しゴールまでたどり着けるか楽しんでいます。

今日は園庭で採れたイチゴやお友達が持ってきててくれたニンジンをゴールに置き、歩きやすく工夫していましたよ！
でもだんだんカプラの迷路よりも、自分の腕に乗せて歩かせる方がおもしろくなり、ダンゴムシと仲良く遊んだひとときでしたよ



④ジャガイモの花

園庭の畠のジャガイモも大きくなり、今日はジャガイモの花が咲いていることに気づきました！
紫色に少し白色が混ざった綺麗な花をじっくり眺めていましたよ。



ダンゴムシとの出会いから、虫や植物などに関心が高まっている子ども達です。

②の幼虫とアリの場面ではまだ虫同士が食べる・食べられるという認識がなく、みんなから出たのは「遊んでいる」の言葉でした。
これからたくさんの経験をしていく中で、虫同士の命の関係などにも気づいて学んでいくんだろうと思い、子ども達の学びの芽をつまぬよう「幼虫が食べられている！」の言葉をぐっと飲み込んだ担任でした。

